

日頃からの地震への備え

備えあれば憂いなし。
大地震がいつ発生しても大丈夫なように、建物の安全性や室内の危険箇所などを、日頃からチェックしておきましょう。

転倒・落下を防止しよう

家具別 転倒防止策

● たんす



L型金具、チェーン、ベルトで固定するタイプなどを使って、壁・柱・鴨居などに固定する。

● 2段重ねの家具



重ね留め用金具を使って、上の家具の落下を防ぐ。

● テレビ



専用固定金具やベルトなどで固定する。

● 冷蔵庫



背部の取っ手にベルトなどをかけて固定。メーカーが別売り専用ベルトなどを用意していることが多い。

● 照明器具



つり下げ式の照明は、鎖や針金を使って数か所を天井に固定する。

● 食器棚



専用の扉開閉防止用具をとりつける。棚板に滑り止めのふきんなどを敷く。

寝室



寝室には倒れそうな家具を置かない。ベッドや布団の位置が、家具の転倒方向と重ならないように配置する。

出入口・通路



いざというときの避難路を確保するため、できるだけ出入口や通路に荷物を置かないようにする。

ガラス類



窓ガラスなら内側に、食器棚や額縁など家具類のガラス面なら外側に、飛散防止フィルムをはりつける。

非常持出品・備蓄品を用意しよう

非常持出品 災害発生時、最初に持ち出すもの

- 非常食(カンパン、缶詰など)
- 飲料水
- 携帯ラジオ(予備電池)
- 懐中電灯(予備電池・電球)
- ろうそく、ライター、マッチ
- ヘルメット(防災ずきん)
- ナイフ、缶切り、栓抜き
- ティッシュ
- タオル
- ビニール袋
- 上着
- 下着
- 軍手
- 救急医薬品(キズ薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、目薬など)
- 常備薬
- 貴重品(預貯金通帳、印鑑など)
- 現金
- 健康保険証のコピー



非常備蓄品 復旧するまでの数日間を支えるもの

- 食品(缶詰、レトルト食品、ドライフーズや栄養補助食品など)
- 食品(調味料、スープ・みそ汁など)
- 食品(チョコレート、のどあめ、梅干など)
- 水(1人1日当たり3リットル)
- 燃料(卓上コンロ、固形燃料、予備のガスボンベなど)
- 毛布、タオルケット、寝袋など
- 洗面用具(歯ブラシ、石けん、タオル、ドライシャンプーなど)
- 鍋、やかん
- 簡易食器(わりばし、紙皿、紙コップなど)
- ラップ、アルミホイル
- ウエットティッシュ、トイレトペーパー
- 使い捨てカイロ、マスク、新聞紙、裁縫セットなど
- 簡易トイレ
- 予備のめがね、予備の補聴器など
- 自転車
- 工具類(ロープ、パール、スコップなど)



月1回、家族で防災会議を開こう

防災会議のテーマ

- 一人ひとりの役割分担を決める
- 家の危険箇所をチェックする
- 非常持出品のチェックと入れ替え
- 災害時の連絡方法や一時避難場所の確認



地震保険に加入しよう

火災保険とセットで地震保険に加入すると、保険の対象となる建物や家財が全損・半損・一部損のいずれかに判定された場合、保険金が支払われます。詳しくは各保険会社へ。



可児市の地震対策を知っておこう

- **可児市の地震防災マップ**
市内の震度分布(地震による揺れやすさ)などを表示した地図が市役所および各連絡所です。
- **耐震化促進事業**
可児市では、耐震診断・耐震補強工事の条件に合った建物であれば、補助金を受けることができる制度があります。くわしくは建設部建築指導課まで。

